

大正六年十二月十九日第三種郵便物認可 (每月一回十五日發行)

阿武郡報

第二十四號



◎ 教の三難

子を教育するは人を教ふるよりも難く
妻を教ふるは子を教ふるよりも難く已
を教ふるは妻を教ふるよりも尙難し之
を教への三難と云ふ故に人を教ふる能
はざるものは未だ教を談する資格あら
ざるものごかや

◎ 庶務

□ 町村長集會

七月十五日より三日間開催の本郡町村長集會に於て指示
したる事項其他左の如し

指示事項

- 一、町村吏員待遇の向上に關する件
- 二、事務の簡捷に關する件
- 三、羅災救助基金法改正に關する件
- 四、納稅事務改善に關する件
- 五、統計に關する件
- 六、學校衛生に關する件
- 七、傳染病院隔離病舎管理に關する件
- 八、藥用植物の栽培調査に關する件

大正七年七月十四日印刷
大正七年七月十五日發行
發行所 山口縣阿武郡役所
山口縣阿武郡萩町
第二千二百六番屋敷
印刷所 株式會社萩響海箱

九、桑園の肥培整理に關する件

一〇、畜産獎勵に關する件

一一、家庭工業獎勵に關する件

一二、漁村改善に關する件

注意 事項

一、軍事救護に關する件

二、保健衛生調査に關する件

三、森林植伐に關する件

四、肥料共同購買獎勵に關する件

五、害蟲驅除豫防に關する件

六、蕪市場産蕪出荷に關する件

諮問 事項

一、町村吏員待遇に關する件

二、在郷軍人軍服調製に關する件

三、入營兵の附添取締に關する件

四、阿武郡佛教團組織に關する件

大正七年度前期戸數割 附加稅納稅狀況

本郡に於ける納稅狀況は當局の督勵及町村民の自覺とに依り近時著しく良好なる成績を收むるに至りたることは

前號所載の如し今年五月及六月納期に屬する大正七年度前期(四期に徴收する)戸數割附加稅に就き調査するに全部完納のものは椿東、椿、三見、明木、佐々並、生雲、地福、嘉年、高俣、奈古、小川、田万崎、見島の十三ヶ村にして椿東、生雲、嘉年、高俣、奈古、小川、田万崎見島の八ヶ村は今期初めて完納を見るに至れり就中椿東分村及見島村は從來毎納期二百人以上の滞納者を出せしものなるに本年前期縣稅より一躍全部完納の伍班に列し又田万崎村は從來納期を四期に分ちたりしか本年前期より之を二期に改め猶且完納の實績を擧ぐるを得たる等努力の跡誠に顯著なるものあり而して郡内滞納者の總數は二百七十一人にして其の最も多きは篠生村の百三十一人萩町の六十七人山田村の四十一人とす山田村に於ては督勵を嚴にし殊に徴收困難なる部落に對しては吏員を出張せしむる等大に努むる所ありしか玉江浦漁業部落の舊債未だ償却するに至らず爲に同部落に多數滞納者を出せしは事情諒とすへきものありと雖も篠生村の如き前期に對比し約四倍の滞納者を増加せしこと驚かざるを得ず本郡滞納者の總數の半を占め爲に郡全体に於て充分なる好成绩を收むる能はざりしは甚だ遺憾とする所にして大に村當局の奮起と村民の自覺を促さるへからず然る

地方改良講演會

本郡神職會の事業として敬神思想の鼓吹並民風改善の目的を以て例年郡内各地に講演會を開催し來れるか本年は左記日割に依り講師二名を招聘して郡内を二分し同様講演會を開催せり至る所聽衆堂に滿ち講師の懇篤熱心なるに講演に多大の感動を與へ効果見るへきもの多し

一、講師 元國學院教諭村田景治氏

七月四日 萩町

同 五日 椿村 山田村

同 六日 三見村 椿郷東分村

同 七日 明木村 佐々並村

同 八日 川上村

同 九日 福川村

同 十日 吉部村

同 十一日 紫福村

同 十二日 大井村 奈古村

同 十三、十四日 宇田郷村

同 十五日 萩町

同 十六日 六島村

同 十八日 見島村

一、講師 縣社社司田村繁行氏

に萩町は他村に比較し戸數の多きと出入頻繁なる等諸般の關係上納稅成績の不良なること誠に止を得ざるものあり從來毎期滞納者千數百人を算し殊に前期の如き實に千八百三十七人の滞納者を數へ郡總數の約七割に近き數字を示せるか如き從來に於ける納稅成績最も不良なるものありしが町當局に於て一大決心をなして納稅事務刷新の計劃を策立し納期を法定納期と一致せしめ獎勵規程を設けて之か趣旨徹底を圖り一面郡長を聘して町内五ヶ所に亘り納稅獎勵講話を開催し且各區長をして事前の督勵を嚴行せしめたる結果滞納者僅かに六十七人に減し洵に空前の良成績を擧ぐるに至れり其の他の村に於ても一人乃至多きは五人の滞納者あるのみとなり而かも其の多くは所在不明に屬するものにして極力督勵の蹟歴然たるものあるを認む之を要するに今期戸數割附加稅は前年後期に於ける完納六ヶ村に比較し十三ヶ村即ち七ヶ村を増加し滞納人員も亦二千九百七十七人に比較し二百七十一人即ち二千七百人を減少したる如き狀況にして本郡の納稅狀態著しく改善の蹟を擧ぐるに至れるまじ慶祝に堪へざる所なり今後尙一層の努力を加へ一躍完納郡となすに至らんことを望む (參考資料参照)

七月六日	篠生村
同七、八日	生雲村
同九、十日	地福村
同十一、十二日	徳佐村
同十三日	嘉年村 高俣村
同十四日	高俣村 福賀村
同十五日	福賀村
同十六日	彌富村
同十七日	小川村
同十八日	小川村 田万崎村
同十九日	須佐村

神社例祭

八月中神社の例祭を執行するもの左の如し
郷社 住吉神社 八月一日より同五日迄

町村出納検閲

左記の通町村出納検閲を執行せり
川上村 六月二十七日
明木村 六月二十八日
佐々並村 六月二十九日

傳染病發生狀況

本郡に於ける法定傳染病發生狀況を一月より六月に至る半々年間に就て前年同期間と比較對照するに大体に於て本年は二十一人を増加せり而して前年は虎列刺疑似二十三人赤痢五人を出したるも本年は未だ發生せず赤痢疑似、腸窒扶斯、腸窒扶斯疑似及實布埜里亞は前年より幾分其數を増加せり就中本年六島村に腸窒扶斯及腸窒扶斯疑似四十八人を發生したると實布埜里亞の年々多數發生せるとは増加の主因と見るべく本年傳染病未發の町村は三見、生雲、高俣、大井、彌富、見島の七ヶ村にして見島村の如きは前年を通して皆無なり(別表參考資料參照)に依り考ふるも腸窒扶斯及腸窒扶斯疑似に於て豫防接種を施行したる町村は全部良好なる成績を示せり萩町の如きも本年既に其の半數の豫防接種を了し尙近く殘部をも施行の計劃なるに依り本年は郡の全体に於ては大に數を減少するに至るへし

兵事

大正七年度山口聯隊區

徵兵検査概観

本年度徵兵検査に關する小野田山口聯隊區司令官の講評

を載録して參考に資す

一、一般に就て

昨年九月縣當局よ於て戰後準備共勵大會を開催せられ而して青年團の訓練に就ては其共勵事項の随一とせられたり其後月を閱すること七月有餘、日猶淺しと雖も其訓練の結果たるや維し多少たり共徵兵検査成績上に反映を呈せざるへからず従て吾人は一種の興味と多大の期待を待し検査に従事したり

爾來検査に従事すること六十有餘日検査人員約六千餘名此間或は正面より或は側面より直接又は間接に各人に就き試問應答に試み且つ彼等か検査場に於ける言行服裝は勿論宿舍控室等に於ける細微の舉動に至るまで查察觀察し以て其結果如何を考慮するの資に供したり

右觀察の結果に依れば期待以上、より良好なる者あり或は不良にして意外の感を惹起せしめたるものあり然れ共概評せば先づ豫期の成績を挙げたるものと認む今茲に學力體格及德育の三方面に對し是れか所感を述んとす

二、壯丁一般の學力に就て

壯丁學力の程度は一般良好にして恐らくは日本全國中に於て優秀の地位にあることは年々其筋より回示せらるる全國徵兵検査成績に徴するも明かなり而して本年度に於

ける壯丁學力の程度は次の如くにして高等小學校卒業以上の者其半數以上に達せるの良程度なり

學力程度	千分比
高等小學校卒業以上の者	四九九、八
尋常小學校卒業の者	四一九、三
其の他の者	八〇、九

備考 其の他の中には無學文盲にして自己の姓名をすら書し得ざる者六十六名を含む

青年團訓練の一部として縣當局者より指示せられたる處に據れば各町村は補習教育を少くも年に三十時間以上實施し且つ必須實行事項として少くも毎月一回 勅語捧讀式を施行せざるへからず果して然らんか彼等の精神に常に緊張し學力の進歩も亦顯著なるものあらんと思惟せしか郡衙に於て施行せられたる學力調査表によれば意外にも昨年比し却て劣悪なりしは如何なる以縁なるか、聞く所によれば學科問題は昨年比し平易ならず難解のもの多かりし結果なりとは多數郡當局者の言明する所なり果して然らば青年團訓練の一なる補習教育も些少の効果無かりしか、非か只問題其ものか難解なりしとの故を以て學力進歩の反証と爲すは聊か物足らぬ心地をすれ然るに最後に至り美禰、吉敷の兩郡に於ては學科試験を青

年團員と非青年團員(他所に寄留又は旅行しある者)とに
區分し調査したるに別表の如き成績を得たりと
青年團員と非青年團員との學力比較調査表

科目	國語並ニ算術		常識		問 題
	青年團員	非青年團員	青年團員	非青年團員	
美 滿	五二〇	四〇七	六四四	五三九	
吉 敷	四九三	四八五	六七七	六、九	
平 均	五〇三	四四六	六二一	五七九	

右表に依れば團員と非團員との成績即ち補習教育を受け
たるものと否らざるものとの間には格段の差あるを見る
而して本年補習教育は僅々四五ヶ月に過ぎざりしを以て
其成績は未だ充分ならざりしも今後順次良好の域に趨く
べく而して來年度よりは試験方法に就き一層の研究を加
へ問題撰定の如きも漏洩を防ぐ爲其範圍を擴め其一部は
郡當局に委任するを適當とせざるか尙又青年團員手帳は
本人を刺激獎勵するの効あるを以て益々其普及を計り且
つ其趣旨を徹底せしむる爲入隊の際は携行せしめ以て所
屬中隊長の參考に供するを可とせん
次に一部の實驗によれば國語の成績は概ね可なるも數學
の成績は極めて不良なるものゝ如し是れ國民性弱點の一

義務の根元、徴兵令に規定せらるゝ體格等位等に關し簡
單なる試問をなすも孰れも明確なる解答を爲すこと能は
ざりしは甚だ遺憾とする所なり依て將來は協定の如く青
年團に於て充分之を實施せらるゝ様希望す

三、體格等位に就て

青年團員訓練の一部として體育の必要なるは今更喋々す
るを要せず従つて到る處擊劍、角力、徒走競争等屢々開
催せらるゝは尙に慶賀の至りなり殊に熊毛郡に在つては
郡當局者に於て統一的に獎勵實施しありて頗る旺盛を極
む即ち同郡に於ては擊劍防具を備ふるに百三十八組、
指導者として教員、警察官等之れに従事する者約六十名
而して各町村に於ては毎月四回以上實施し殊に岩田、田
布施、麻里府村にありては毎月十回以上實施しあるは大
に意を強するに足るへし然れ共體育は元來根元的問題
にして一朝一夕に能くする所にあらず彼の空腹に茶漬飯
を食する如く速効なきは明かなり従つて本年度壯丁の體
格等位は昨年比し甲種合格者は稍多かりしも第二乙種
以上の合格者少く却て丙種以下に降りたるもの多かりし
を以て各兵科採用の身長を著しく低下せしめざるを得ざ
りしを遺憾とす

壯丁體格等位郡比較表

郡 別	前年		本年		増 減	一人平均體重	増 減
	前年	本年	前年	本年			
美 滿 郡	五三三	五二〇	一三二	一三〇	二	一三六	三
阿 武 郡	四七三	四七二	一三三	一三二	一	一四〇	七
熊 毛 郡	四九七	四九七	一三六	一三五	一	一四七	二
吉 敷 郡	五〇七	五〇三	一三六	一三五	一	一四六	二
都 濃 郡	四三九	四三九	一三三	一三三	〇	一四四	〇
大 津 郡	四六一	四六一	一三三	一三三	〇	一四一	〇
佐 波 郡	四四二	四四二	一三二	一三二	〇	一四二	〇
平 均	四六六	四六六	一三二	一三二	〇	一四二	〇

次に身長及體重は左の如し
壯丁身長體重郡比較表 (検査施行ノ順序)

郡 別	一人平均身長		増 減	一人平均體重		増 減
	前年	本年		前年	本年	
熊 毛 郡	五、三	五、三	〇	一三、九	一三、九	〇
佐 波 郡	五、三	五、三	〇	一三、八	一三、八	〇

部を暴露せるものにして即ち思考力乏しく秩序的に計畫
せず少しく面倒なる事項に遭遇せんか之を放棄せんとす
る邦人の缺點を現出せるものにあらざるなきか又常識の
成績に就ても未だ不充分なるを免れず其一例を擧ぐれば
現今世界に於て大戦争行はれあり何國と何國と交戦し
るやとの間に對し平然として答て曰く獨逸と支那と戦争
しありと、又日本は何國と同盟して戦争しありやとの問
に對し支那と同盟して露西亞と戦争しあるなりと、噫世
界戰を説き戦後準備共勵の下に訓練せられんとする青年
中に斯の如きものあり如何に青年指導の困難なるか察知
すべきなり

序に一言すへきは本年二月縣當局者と協定し青年團補習
教育の一部として適齡者に對し壯丁豫習教育を青年團に
於て施行することに協議済なるか之を實行せるは某郡並
に某々町村のみては他は多く實施せざるのみならず甚
たしきに至つては某町分會に於ては之れを實施せん爲場
所並に時間割等一部の都合を交渉せしに青年團副團長た
る某小學校長は當に便宜を與へざるのみならず種々の口
實を設け講堂の使用並に時間の一部を割くことを拒絶し
たる者あり従つて斯る町村の壯丁は検査場に於ける行儀
作法等秩序なく懦弱なる服裝をなし又國防の負擔、兵役

郡別	平均	吉敷郡	美濃郡	大津郡	阿武郡	都濃郡
令第十二條志願者	五、三三	五、三三	五、三三	五、三三	五、三三	五、三三
細則第二十一條志願者	一、三三	一、三三	一、三三	一、三三	一、三三	一、三三
大正五年	一、三三	一、三三	一、三三	一、三三	一、三三	一、三三
大正六年	一、三三	一、三三	一、三三	一、三三	一、三三	一、三三
大正七年	一、三三	一、三三	一、三三	一、三三	一、三三	一、三三
大正八年	一、三三	一、三三	一、三三	一、三三	一、三三	一、三三
大正九年	一、三三	一、三三	一、三三	一、三三	一、三三	一、三三
大正十年	一、三三	一、三三	一、三三	一、三三	一、三三	一、三三
大正十一年	一、三三	一、三三	一、三三	一、三三	一、三三	一、三三
大正十二年	一、三三	一、三三	一、三三	一、三三	一、三三	一、三三

右表によれば管内を平均して身長一分を減したるも體重九匁を増加したるは喜ぶべき現象なりと認む
 之れを要するに近年青年の體格漸時不長に趨き疾病、怯弱者の増加しつゝあるは幾多の事實に依り証明せらる所なり然るに體育は智育と平行せず學校猶豫者にして身體検査を受けたる者を見るに多くは顔色憔悴し形容枯槁すと謂ふべき者に屬し乙種以下となりたるもの最も多かりし果して然らば縦ひ高等の學術を修め得たりとするも常に醫藥に親み病床に呻吟せんか其抱負も將た又學術も唯無用の長物となり徒らに煩悶するに止まらん依て吾人は中學校生徒以上の者に對しては勿論青年團員も將來第一層體育運動に注意せられんことを熱望して已まざる所なり

壯丁學力程度と體格等位關係表

學力程度	體格等位ニ對スル百分比			
	甲種第一乙種第二	丙種	丁種	戊種
高等專門學校卒業以上ノ者	三、五	一、六	二、〇	二、七
中學校卒業及全等ト認ムル者	三、六	一、三	二、三	二、六
高等小學校卒業者全等ト認ムル者	五、六	一、九	一、三	二、九
高等小學校卒業者全等ト認ムル者	五、九	一、〇	一、六	二、九
其他ノ者	四、三	一、二	一、三	一、三

右表によれば如何に智育を體育とか反比を爲しあるや其學業の進むに從ひ如何に暗記と點數を得ることのみに没頭しあるやを察知することを得へし
 四、德育の方面に就て
 單に德育と言へば其範圍極て鴻大に其意義極めて深厚ならん從て薄非才なる吾人が猥りに之を議するは潜越たるを免れず依て茲には單に彼等の心意狀態より發生する志氣の振否禮儀作法の良否、自發的保健の確否、處刑者の多少を觀察し其一端を敲くに止めんとす
 一、志氣の振否に就て、壯丁志氣の振否は主として現役志願者の多少、徵兵忌避者の有無により之を卜するを得へし
 最近三ヶ年間現役志願者郡比較表(検査順序)

郡別	令第十二條志願者	細則第二十一條志願者
佐波郡	五	一〇
熊毛郡	三	九
都濃郡	元	三
阿武郡	元	三
大津郡	元	三
美濃郡	一	二
吉敷郡	一	二
合計	二五	四七

右表に依れば昨年は一昨年に比し令第十二條志願者二十七名、細則第二十一條志願者五十四名を減し又本年は昨年に比し令第十二條志願者二十四名細則第二十一條志願者二十五名を減したるは寔に遺憾とする所なり
 次に徵兵忌避者の尙根絶せざるは是亦遺憾とする所なるも昨年の九名に比し本年は四名を減し五名となりたるは稍愁眉を開き得るも五名中注目し價すべきは某農村の一青年が普通眼なるに拘らず強度の近視眼鏡を約二ヶ年間使用し假性近視變症を企てありしと疑はしきことはなり斯の如き現象に就ては青年指導者に對し殊に注意を請はざるを得ざるなり

禮儀作法に就て 從來遠隔せる町村の各壯丁か受檢地に來り宿舎に就くや當日は宛も治外法權を得たるか如く惡戯亂暴をなし或は遊廓を素見し大道上に放歌亂舞する等甚たしき弊風ありしか此の二、三年來風儀大に改まり殊に本年の如きは各宿舍共概ね靜肅にして何等批難すべき事項なきは各警察官、憲兵等の通牒により明かなり又検査場に於て彼等か各係官に對する言行動作觀察するに多くは禮讓を重し或る一部を除くの外は悉く眞面目にして大に青年團訓練の効果を發揚せしは各當局者に對し深く感謝する所なり
 ハ、自發的保健の確否に就て 彼等壯丁の自發的保健の確否は主として花柳病「トラホーム」患者の多少に依り之を推察することを得へし

壯丁トラホーム、花柳病患者比較表(検査順)

郡別	年次	トラホーム患者數	花柳病患者數
佐波郡	前年	三、七	一、〇
熊毛郡	前年	一、〇	一、四
都濃郡	前年	一、〇	一、四
阿武郡	前年	一、〇	一、四
大津郡	前年	一、〇	一、四
美濃郡	前年	一、〇	一、四
吉敷郡	前年	一、〇	一、四
合計	前年	一、〇	一、四
佐波郡	本年	三、七	一、〇
熊毛郡	本年	一、〇	一、四
都濃郡	本年	一、〇	一、四
阿武郡	本年	一、〇	一、四
大津郡	本年	一、〇	一、四
美濃郡	本年	一、〇	一、四
吉敷郡	本年	一、〇	一、四
合計	本年	一、〇	一、四

計	阿武郡				美濃郡				吉敷郡			
	本年	前年	本年	前年	本年	前年	本年	前年	本年	前年	本年	前年
ト	八、八〇	八、五〇	一〇、七六	一〇、四六	五、三六	五、三六	九、三〇	九、三〇	一〇、九	九、九	五、六	五、六
花	二、四	二、三	二、七	二、七	六、九	六、九	二、六	二、六	二、三	二、三	二、三	二、三
柳	二、二	二、二	二、二	二、二	一、二	一、二	一、二	一、二	一、二	一、二	一、二	一、二
病	二、二	二、二	二、二	二、二	二、二	二、二	二、二	二、二	二、二	二、二	二、二	二、二

比較區分	病別			
	ト	花	柳	病
山口聯隊區	八、二	一〇、五	三、八	二、五
第五師團	一〇、一	九、三	二、四	三、三
全 國	一六、八	一六、五	二、三	二、四

備考 本表中ニハ「ト」ヲ「ホ」ニ疑似者ハ之ヲ除算ス
右表に依れば「ト」ヲ「ホ」ニ并に花柳病患者共に減少せし
は吉敷、佐波の二郡にして他は若干増減あるも管内を合
すれば兩患者とも減少せしは喜ぶべき次第なり
但し本年花柳病患者に付特に注目すべきは本人自ら其
非を覺りしか或は又之を飾らんとするか不明なるも其
原因を訊問すれば種々の口實を設け辯解を試みたるも

陸軍簡閱點呼

本年執行せらるべき陸軍簡閱點呼期日、點呼場及點呼區
域等左の如し

補充兵教育召集

本年より歩兵補充兵教育召集施行せられ本郡に於ては左
の通大正六年徵集に係る歩兵補充兵五名七月二十三日歩
兵第四十二聯隊に入隊を命ぜられたり

江村 隆雄	藤村 尚之	竹重 光雄	山崎 甚一	西尾 正夫
藤本 經一	山本 兼一	千葉 滿己	福本 貞一	西坂 藤一
藤本 經一	山本 兼一	千葉 滿己	福本 貞一	西坂 藤一

産 業

蘭市場狀況

本郡農會の經營に係る本年春季蒜蘭市場は七月十日より
同二十日迄十一日間開催し春蘭取扱高は四千六百八十五

六週間現役兵入隊

本郡内在職小學校教員にして陸軍六週間現役兵に相當し
七月一日歩兵第四十二聯隊へ入隊を命ぜられたるもの左
の如し
明倫尋常高等小學校訓導 清水健太郎

月 日	點呼場	點呼區	域
七月二十九日	山田村	三見村	
七月三十一日	白水小學校	見島村	
八月二日	見島小學校	萩町ノ半部	
八月三日	明倫小學校	萩町ノ半部	六島村 椿村
八月四日	明倫小學校	明水村	川上村 佐々並村
八月五日	椿東小學校	椿東分村	
八月六日	福川小學校	福川村	紫福村
八月七日	奈古小學校	奈古村	大井村 宇田郷村
八月九日	須佐小學校	須佐村	田万崎村
八月十日	小川小學校	小川村	彌富村
八月十二日	高俣小學校	高俣村	嘉年村 吉都村 福賀村
八月十四日	地福小學校	地福村	徳佐村
八月十五日	篠生小學校	篠生村	生雲村

貫其の價額三萬四千三百二十圓即ち前年春季に比し千九百二十貫價額一萬五千二百四十圓を増加せり而して最高九十二錢最低六十八錢五厘平均七十三錢三厘を示せり又本年新設に係る徳佐藩市場は七月二十一日より同二十七日迄七日間開催し春藪取扱高は千七百五十五貫其の價額一萬三千三百三十五圓にして最高一圓二錢最低六十五錢平均七十五錢九厘を呈せり之を要するに本年春藪取扱高は數量に於て三千七百十五貫價額に於て二萬八千五百七十五圓を激増せり尙各市場の狀況左の如し

△萩藪市場

出荷町村名	藪取扱數量	同上	價額
萩町	一七八		一、二七七
椿郷東分村	四〇七		三、五五六
山田村	二一〇		一、六〇九
三見村	九		六六
明木村	一七		一〇七
佐々並村	六七九		五、〇九七
川上村	一八五		一、二九〇
福川村	八七二		六、三四六
計	三、一〇		二、〇六九

△徳佐藩市場

出荷町村名	藪取扱數量	同上	價額
徳佐村	一、二〇六		九、三〇〇
地福村	一五七		一、一三三
生雲村	三八		二七〇
藤生村	一八		一三六
嘉年村	五		二八
高俣村	二五〇		一、七九二
吉部村	四三		二九二

備考 數量中白藪九割ニシテ其ノ他ハ日支交雜ノ白藪ナリ

出荷町村名	藪取扱數量	同上	價額
紫福村	二四一		一、六六八
大井村	六八一		四、八二六
奈古村	二四一		一、六六一
宇田郷村	三二五		二、三八三
須佐村	一六九		一、二五一
田万崎村	七〇		五一八
六島村	五		二九
大津郡	八六		六二二
計	四、六八五		三、四、三二〇

□畜牛種付狀況

阿武郡の畜産業は近時畜牛の需用増加に伴ひ生産、育成、肥養、改良、移出入等に於て著しき進歩を來せるか就中生産數は全郡殊に北半部に於て最も大なる増加を示せり試に大正六年五月より同七年四月に至る滿一ヶ年間の町別種付數を掲ぐれば左の通にして大正六年の調査に比し三百八十八頭を増加し本郡畜産業に新記録を作れり之に依りて本年内の生産數を豫想するときは右種付によりて生産するもの約八割即ち千九百五十六頭及郡外に於て種付したるものより生産するもの七十頭或は移入牛より生産するもの百五十頭等を合計するときは二千百七十六頭にして大正六年の調査に對比し三百五十頭を増加せんとす而して種付に使用したる種牡牛は四十一頭なり

備考	數量中白藪六割日支交雜五割在來種一割ニシテ其ノ他ハ黃藪ナリ
福賀村	一〇
川上村	五
佐波郡	二二三
計	一、七五五
	一三、三三五

町村名	自正六年五月種付頭數	至同七年四月	自正五年五月種付頭數	至同六年四月	差引増
萩郷東分	二五		三五		一〇
椿郷東分	一六六		一五九		七
山田	六八		二六		四二
三見	九五		八七		八
明木	九		一五〇		二八
佐々並	五一		七		二
川上	三九		一五		三六
藤生	一七		二一		一八
生雲	一七		六		一一
地福	四二		二九		一一
徳佐	一三〇		二七		二九
嘉年	七三		八〇		五〇
高俣	四〇		八二		一五
吉部	七		四〇		九
福川	三六		八		五〇
紫井	七一		一五		一一
大井	九七		二九		四二
奈古	一八一		一〇九		二二
計	一、七五五		一、二五		五〇

宇田郷	一〇八	一〇二	六
福賀	一三八	一四四	七
須佐	一五七	一三四	二
彌富	三六	三二	四
小川	一二四	一二四	一
田方崎	二九	二二	八
六島	一七〇	一五〇	二〇
見島	三〇〇	三〇〇	一
合計	二、四四五	二、〇五七	三八八

都濃郡に於ける輸出
壘籠製造事業

都濃郡富岡村兼重戸一か中心となりて經營の輸出壘籠製造事業は大正三年十二月の開始に係るものにして全人は當初經營意の如くならず頗る困厄に際會せしことありしも堅忍自強萬難を排し獨力を以て或は各地に傳習所を開設し或は器具器械を貸與し且つ原料を供給して成品を一手に引受くる等専ら従業者の便宜と利益を圖れる爲今や本事業は全村附近の町村は勿論遠く長穂鹿野向道米川久保及佐波郡島地等の十六ヶ町村に亘り従業人員千餘名に

達し一ヶ月約十二三萬個を産出するに至れり本事業は老幼婦女子を問はず容易に製作し得らるるものにして普通一日に五六拾錢の工資を得其の熟練せるものは一日よく壹圓以上を收得するものありて其の地方經濟に及ぼす好影響少からず現に富岡村に於ては其の引用せる電燈料の如きも特に夜業を以て之を支辨するもの多く一般生活の向上を來たし他の農村に於て見るか如き疲弊困憊の情勢少なきのみならず婦女子及小學校児童にして貯金を爲せるもの尠からず是れ全く適當なる家庭工業のある賜なりとす因に原料「コウ笹」は今や拂底を告げ遠く大島美爾郡地方より蒐集せる有様なり

◎ 辭 令

熊毛郡麻郷尋常高等小學校長 東 久 治
任阿武郡視學 東 久 治
給五級俸(六月二十八日)
阿武郡視學 東 久 治
學務係長ヲ命ス(七月八日)
阿武郡立實科高等女學校教諭 本 永 旭
任豊浦郡立高等女學校教諭 本 永 旭
給七級俸(當分四十三圓)

□ 小學校教員異動

新任ノ部		轉任ノ部		增俸ノ部	
新任月日	校名	轉任月日	校名	轉任月日	校名
六月十四日	紫福	六月一日	田彌	六月三十日	明倫
	訓導	富准訓導	職名	明倫	訓導兼學長
	十級下俸	四級下俸	俸給	全	三級上俸
	中村ノブ	安富入太郎	氏名	全	香川 政一
				全	内藤 一祐
				全	長澄 市衛
				全	七級上俸
				全	七級下俸
				全	八級下俸
				全	小川 正壽

六月三十日	校名	職名	俸給	氏名
全	明倫	訓導	九級上俸	吉屋 園吉
全	全	全	全	一來 テル
全	全	全	十級上俸	齋藤 實
全	全	全	八級下俸	金子 精一
全	全	全	全	田淵 ヨシ
全	全	全	全	尾川 ミツ
全	全	全	五級上俸	萩原 芳子
全	全	全	六級上俸	河内 太子一
全	全	全	七級上俸	河野 千世
全	全	全	七級下俸	永安 豊太
全	全	全	全	金子 虎吉
全	全	全	全	倉重 政助
全	全	全	全	池田 美成
全	全	全	全	藤田 宗亮
全	全	全	全	世良 春枝
全	全	全	全	淺野 トシコ
全	全	全	全	三宅 ヒデ
全	全	全	全	白井 壽男
全	全	全	全	井町 スミ
全	全	全	全	野山 誠三
全	全	全	全	野上 サダ

六月三十日

全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
越	松	椋	白	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
西	水	訓	訓	訓	訓	訓	訓	訓	訓	訓	訓	訓	訓	訓	訓	訓	訓	訓	訓
全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
七	十	五	八	十	八	九	七	六	四	十	八	八	八	八	八	八	八	八	八
級	級	級	級	級	級	級	級	級	級	級	級	級	級	級	級	級	級	級	級
下	上	下	上	下	上	下	上	下	上	下	上	下	上	下	上	下	上	下	上
俸	俸	俸	俸	俸	俸	俸	俸	俸	俸	俸	俸	俸	俸	俸	俸	俸	俸	俸	俸
松	永	信	山	池	池	岩	寺	小	三	西	內	溝	求	島	義	末	柴	荒	種
本	富	國	縣	上	上	崎	山	島	上	村	山	部	治	中	田	田	木	子	子
二	正	久	久	の	の	梅	豐	經	三	一	三	求	治	島	田	田	木	子	子
郎	志	堅	堅	ふ	ふ	一	次	彦	子	平	郎	治	治	島	田	田	木	子	子

六月三十日

全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
佐	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
八	六	八	八	十	十	六	八	十	十	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八
級	級	級	級	級	級	級	級	級	級	級	級	級	級	級	級	級	級	級	級
上	上	上	上	下	下	下	下	下	下	下	下	下	下	下	下	下	下	下	下
俸	俸	俸	俸	俸	俸	俸	俸	俸	俸	俸	俸	俸	俸	俸	俸	俸	俸	俸	俸
伊	模	新	藤	田	張	澄	上	福	小	中	小	大	大	中	長	大	植	橋	吉
藤	原	谷	原	淵	川	川	利	谷	野	村	野	塚	塚	村	見	塚	植	橋	吉
金	孝	一	孝	一	忠	忠	賢	一	三	敏	三	音	音	久	宜	清	雪	正	松
熊	一	彦	一	彦	一	一	一	一	三	磨	三	熊	熊	樹	章	市	子	正	松

六月三十日

全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
持	德	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
坂	佐	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
訓	訓	訓	訓	訓	訓	訓	訓	訓	訓	訓	訓	訓	訓	訓	訓	訓	訓	訓	訓
導	導	導	導	導	導	導	導	導	導	導	導	導	導	導	導	導	導	導	導
全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
九	八	十	十	五	七	八	七	七	十	十	九	八	八	七	七	七	七	七	七
級	級	級	級	級	級	級	級	級	級	級	級	級	級	級	級	級	級	級	級
上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上
俸	俸	俸	俸	俸	俸	俸	俸	俸	俸	俸	俸	俸	俸	俸	俸	俸	俸	俸	俸
內	村	澄	三	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山
田	川	川	川	川	川	川	川	川	川	川	川	川	川	川	川	川	川	川	川
ッ	龍	龍	龍	龍	龍	龍	龍	龍	龍	龍	龍	龍	龍	龍	龍	龍	龍	龍	龍
ツ	貫	貫	貫	貫	貫	貫	貫	貫	貫	貫	貫	貫	貫	貫	貫	貫	貫	貫	貫
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一

六月三十日

全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
福	半	紫	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
川	田	福	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
八	五	八	十	八	八	八	八	八	十	十	十	十	十	十	十	十	十	十	十
級	級	級	級	級	級	級	級	級	級	級	級	級	級	級	級	級	級	級	級
上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上
俸	俸	俸	俸	俸	俸	俸	俸	俸	俸	俸	俸	俸	俸	俸	俸	俸	俸	俸	俸
阿	藤	內	藤	藤	藤	藤	藤	藤	藤	藤	藤	藤	藤	藤	藤	藤	藤	藤	藤
武	原	山	村	村	村	村	村	村	村	村	村	村	村	村	村	村	村	村	村
猛	文	忠	荒	荒	荒	荒	荒	荒	荒	荒	荒	荒	荒	荒	荒	荒	荒	荒	荒
雄	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一

全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
大島						多磨	全	下小川	全	上小川	全	全	全	全	小川
訓導兼校長						訓導兼校長	訓導	訓導	准訓導心得	准訓導心得	全	准訓導	全	全	訓導兼校長
七級上俸						七級下俸	七級下俸	十級下俸	月俸九圓	月俸拾圓	六級上俸	五級下俸	八級上俸	六級下俸	六級下俸
國弘						市原	福場	井上	緒方	田原	豊田	豊田	綿津	大石	大石
禮輔						清	邦二	文男	淑	ツネ	俊雄	誠雄	經雄	新一	新一

一、一利を興すは一害を除くに若かず
 一、麻の中の選はためざるに自ら直し

全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
見島															大島
訓導															訓導
七級上俸															八級上俸
多田															松浦
守家															好助

實業補習學校職員異動

新任ノ部

六月廿九日	六月十五日	六月十三日	辭令月日	校名	職名	氏名
紫福	三見	福田				
全	全	訓導				
中村	武安	秋枝				
ノ	ノ	實冬				
ア	明	冬				

參 考 資 料

學 校 名	男	女	計	本 位		
				順	月	
川 上 瀨 西 木 濱 田 濱 越 宇 篠 野 佐 並 野 立 龜 山 福 田 鈴 川 三 見 高 東 磨 倫	九五、四二 九八、二七 九八、九二 九八、三五 九八、六三 九八、四三 九八、三四 九六、七八 九七、二二 九六、三六 九七、〇九 九五、九六 九七、六七 九七、三七 九六、六九 九七、〇五 九六、六五 九七、六三	九九、三二 九九、四四 九八、五七 九九、〇八 九八、三六 九七、八六 九七、八〇 九八、五六 九七、九四 九八、六一 九七、二四 九七、七九 九五、七一 九五、七九 九六、二四 九五、九三 九六、二九 九五、二一	九八、八八 九八、八五 九八、七四 九八、七四 九八、五〇 九八、一六 九八、一二 九七、六七 九七、五八 九七、三一 九七、一六 九六、八四 九六、七五 九六、六一 九六、四九 九六、四八 九六、四五	一 二 三 四 五 六 七 八 九 〇 一 二 三 四 五 六 七 八	月 前	位 月

一、町村立小學校兒童出席步合調查表 (其一)

大正七年六月分

目 次

- 一、町村立小學校兒童出席步合調查表
- 二、大正六年度後期戶數割附加稅滯納者調查表
- 三、町村有給吏員優遇ニ關スル條例設定郡別調查表
- 四、大正六年傳染病患者町村別調查表
- 五、自大正五年十月簡易保險申込口數郡市比較表
- 六、青 年 團 郡 市 別 調 查 表
- 七、實業補習學校郡市別調查表
- 八、耕地整理面積郡別比較表
- 九、山口縣下家畜情況比較表
- 一〇、中國各縣畜牛數比較表
- 一一、肥料使用額郡別調查表
- 一二、阿武郡金肥使用額調查表
- 一三、阿武郡稻共同採種組合狀況調查表

字明篠育紫佐福嘉椿彌	學校名	前月郡平均	本月郡平均	生見奈地
田倫生英福並田年西富	一、町村立高等小學校兒童出席歩合調査表	九六、四六	九五、五八	雲島古福
九八、〇〇 九八、一〇 九八、九二 九八、六七 九八、〇四 九八、二四 九八、八三 九九、四七	男	九四、〇四	八八、六八	九〇、五四
九九、一三 九七、二一 九八、〇八 九八、四一 九八、一九 九八、二六 九八、〇〇 九七、八九	女	八八、〇三	八六、四二	八六、九四
九七、七〇 九八、〇二 九八、〇三 九八、二六 九八、二六 九八、四四 九八、五七 九九、二六	計	八八、〇二	八八、〇〇	九九、一〇
一〇 九 八 七 六 五 四 三 二 一	本順月	四二	四一	三九
六 九 一 七 四 五 九 一 二 三	前位月	三三	三五	三九

(三)

藏大嘉高彌大相德白木篠持紫小育福吉半下上	學校名	前月郡平均	本月郡平均	生見奈地
喜井年侯富島島佐水間生坂福川英川部田川川	二、町村立高等小學校兒童出席歩合調査表	九〇、六九	九三、三七	雲島古福
九二、六九 九三、三七 九三、七八 九四、一八 九六、二四 九六、八六 九四、三〇 九五、七〇 九四、三八	男	九三、二九	九〇、八六	九三、八九
九四、八八 九四、七五 九五、四一 九五、七二 九六、三五 九一、二八 九六、二六 九六、七〇 九七、六八	女	九二、三九	九三、五五	九三、八九
九〇、六九 九〇、七三 九〇、八八 九三、二九 九一、七〇 九〇、八六 九三、五五 九二、三八 九四、二六	計	九一、五八	九三、九一	九三、八九
三八 三七 三六 三五 三四 三三 三一 三〇 二九 二八 二七 二六 二五 二四 二三 二二 二一 二〇 一九	本順月	四二	四一	三九
四二 三二 四一 三四 三六 四〇 二五 三一 三〇 二九 一七 二八 二七 二二 二二 一四 三七 一五 四 一三	前位月	三三	三五	三九

(三)

町村名	種目	大正六年度後期		大正七年度前期		△減
		金額	人員	金額	人員	
萩	椿郷東分	三、五〇、八七〇	完	二、八三、七	完	△三、三三、八二〇
山	田見	二五、一、六〇	完	一〇、〇、〇	完	△一四、一、六〇
三	木	二九三、六〇	完	五、七、七〇	完	△二八六、九一〇
明	並	二、八七〇	完	四七二、〇二〇	完	△二六九、一五〇
佐	上	二、八七〇	完	五、七、七〇	完	△二六九、一五〇
川	生	二、八七〇	完	四七二、〇二〇	完	△二六九、一五〇
篠	雲	二、八七〇	完	四七二、〇二〇	完	△二六九、一五〇
地	福	二、八七〇	完	四七二、〇二〇	完	△二六九、一五〇
德	佐	二、八七〇	完	四七二、〇二〇	完	△二六九、一五〇
嘉	年	二、八七〇	完	四七二、〇二〇	完	△二六九、一五〇
高	俣	二、八七〇	完	四七二、〇二〇	完	△二六九、一五〇
吉	部	二、八七〇	完	四七二、〇二〇	完	△二六九、一五〇
福	川	二、八七〇	完	四七二、〇二〇	完	△二六九、一五〇
紫	福	二、八七〇	完	四七二、〇二〇	完	△二六九、一五〇

(五)

學校名	本月郡平均		前月郡平均	
	男	女	男	女
三見	九六、五五	九七、六一	九七、六一	九七、六一
明木	九六、〇〇	九八、九三	九七、六一	九七、六一
椿東	九七、八六	九五、〇八	九七、六一	九七、六一
多磨	九六、六三	九六、〇一	九七、六一	九七、六一
白水	九五、九三	九六、七四	九七、六一	九七、六一
生雲	九六、〇二	九五、三四	九七、六一	九七、六一
德佐	九三、七五	九八、六八	九七、六一	九七、六一
地福	九三、七五	九五、八九	九七、六一	九七、六一
小川	九四、五八	九四、〇三	九七、六一	九七、六一
川上	九四、四四	九四、〇六	九七、六一	九七、六一
高井	九五、二〇	九〇、八六	九七、六一	九七、六一
大井	九〇、八〇	九六、三五	九七、六一	九七、六一
奈古	九一、五七	九二、二五	九七、六一	九七、六一
吉部	九二、〇五	八九、七〇	九七、六一	九七、六一
福川	八七、八六	九〇、八九	九七、六一	九七、六一
見島	八〇、六二	一〇〇、〇〇	九七、六一	九七、六一
大島	七八、六七	七八、六七	九七、六一	九七、六一

(四)

町村名	種目	四、大正六年 傳染病患者調査表		自一月一日至六月三十一日		計
		六年	七年	六年	七年	
萩郷東分	虎列刺疑似赤痢	一	三	二	五	三
椿田	赤痢疑似腸窒扶斯	一	二	一	二	二
山見田	腸窒扶斯疑似	二	七	一	八	二
三木	實布埜里亞	二	三	一	二	二
明木	累	二	二	二	二	二
佐並						
川上						
合計		三三	三〇	八三	六一	三二

(七)

郡名	町村數	三、町村有給吏員優遇ニ關スル條例設定郡別調査表		大正七年七月五日調	
		優遇ニ關スル條例設定町村數	全ク條例設定ナキ町村數	増	減
大島郡	三	一	八	一	三
玖珂郡	三	一	六	一	三
熊毛郡	三	一	六	一	三
合計	三	三	二〇	三	九

町村名	種目	大正六年度後期		大正七年度前期		増	減
		人員	滯納金額	人員	滯納金額		
大井	完納	七四	一、三六〇	三	二、三九〇	七	一
奈古	完納	五	一、六〇〇	一	二、一三〇	五	一
宇賀郷	完納	一六	一、七三〇	四	二、三四〇	一	一
福賀	完納	一七	三、〇二〇	三	三、〇五〇	一	一
須佐	完納	二七	二、九二〇	三	二、〇三〇	一	一
彌富	完納	一	二、五〇〇	三	九〇四、一〇〇	二	一
小川	完納	一	二、四〇〇	三	九〇四、一〇〇	二	一
田崎	完納	一	二、五〇〇	三	九〇四、一〇〇	二	一
六島	完納	二〇	七六、九二〇	一	二七、△六、一三五、九一〇	一九	二
六島	完納	二〇	七六、九二〇	一	二七、△六、一三五、九一〇	一九	二
見島	完納	三五	二、九七七	一	二、七〇六	三	二
合計		二、九七七	二、九七七	二、九七七	二、九七七	二、九七七	二、九七七

(六)

郡市名	五、自大正五年十月至大正七年五月簡易保險申込口數郡市比較表		申込一口當人口	順位
	申込口數	人口		
大島	三〇三	六八、五七四	二二七、〇	一〇
玖珂	三四五	一四四、七九四	四一九、六	一二
熊毛	一、一〇三	八七、二一九	七九、二	一四
都波	五五四	一〇四、九九一	一一七、三	一七
佐敷	四六三	九一、三三四	一九七、二	一八
吉敷	一、六二一	一一一、一七一	六八、五	二〇
美禰	四八〇	四三、八〇四	九一、二	二一
厚狹	四三九	一〇一、二一六	二三〇、五	二二
豐浦	一、三二八	二二〇、九四八	九一、〇	二四
大津	八三一	五三、〇四七	六三、八	二五
阿武	五二九	一一一、八八八	二二一、五	二六
下關	六、一三三	六三、七八五	一〇、四	二七
郡市平均	七二六	九四、四五三	一三〇、一	
大正四年末	二八、九六四	一、二〇二、七七一	三八、〇	

六、青年團郡市別調査表

大正七年五月末日調

町村名	種目	六年		七年		計
		六年	七年	六年	七年	
篠生	虎列刺疑似					
雲生	赤痢					
福雲	赤痢疑似					
地佐	腸窒扶斯					
德年	腸窒扶斯疑似					
嘉侯	實布埜里亞					
高部	累					
吉部	順					
福井						
大井						
奈古						
宇賀						
福賀						
須佐						
彌富						
小川						
田崎						
六島						
見島						
合計						

郡名	整理面積	整理地區數	順位	備考	
				表中一ヶ年教授時數ハ校數平均ナリ	表中左方ノ數字ハ女子ナリ
大島郡	二七一	二二	一〇	二六、六五五	一、三〇六
玖珂郡	九三三	四二	八	三、二二二	二、〇四八
熊毛郡	六一六	五八	一四	三、二二二	二、〇四八
計				二六、六五五	二、〇四八

八、耕地整理面積郡別比較表

大正六年十一月末調

郡市名	市町村數	校數	在籍生徒數	一ヶ年最近一ヶ月教授時數	出席百分比	教員數	上記ノ内專任教員	本年度經費豫算總額	本校數平均	勸學審判例		同分比上	備考
										會出席百分	補習教育ヲ受クル團員數		
大島郡	三	二	一、一八二	一三三	八三、〇	一六	一	一、八九六	九〇	七、三	九八六	六三、四	三
玖珂郡	三	二	一、一八二	一三三	八三、〇	一六	一	一、八九六	九〇	七、三	九八六	六三、四	三
熊毛郡	三	二	一、一八二	一三三	八三、〇	一六	一	一、八九六	九〇	七、三	九八六	六三、四	三
都濃郡	三	二	一、一八二	一三三	八三、〇	一六	一	一、八九六	九〇	七、三	九八六	六三、四	三
佐波郡	三	二	一、一八二	一三三	八三、〇	一六	一	一、八九六	九〇	七、三	九八六	六三、四	三
吉敷郡	三	二	一、一八二	一三三	八三、〇	一六	一	一、八九六	九〇	七、三	九八六	六三、四	三
厚狹郡	三	二	一、一八二	一三三	八三、〇	一六	一	一、八九六	九〇	七、三	九八六	六三、四	三
豐浦郡	三	二	一、一八二	一三三	八三、〇	一六	一	一、八九六	九〇	七、三	九八六	六三、四	三
美禰郡	三	二	一、一八二	一三三	八三、〇	一六	一	一、八九六	九〇	七、三	九八六	六三、四	三
大津郡	三	二	一、一八二	一三三	八三、〇	一六	一	一、八九六	九〇	七、三	九八六	六三、四	三
阿武郡	三	二	一、一八二	一三三	八三、〇	一六	一	一、八九六	九〇	七、三	九八六	六三、四	三
下關市	三	二	一、一八二	一三三	八三、〇	一六	一	一、八九六	九〇	七、三	九八六	六三、四	三
計	三六	二六	三六、七三五	二、六〇七	七六、五	七三	一五	一七五	一五四				

七、實業補習學校郡市別調査表

大正七年五月末日調

郡名	整理面積	整理地區名	順位
都濃	六八七	二九	一六
佐波	一九五	一九	一一
吉敷	二〇九〇	七八	二
厚狹	七六一	三〇	一五
豐浦	三、三五四	七七	五
美彌	三四七	二四	九
大津	六七九	一七	一
阿武	一、五五三	八四	七
計	一一、四八六	四八〇	三七

九、山口縣下家畜情狀比較表

年別	牛				馬					
	總頭數	生產頭數	屠殺頭數	移入頭數	移出頭數	總頭數	生產頭數	屠殺頭數	移入頭數	移出頭數
大正二年	六六、三五七	六、一三二	五、二三〇	九、六〇四	一〇、五〇〇	六六、三五七	六、一三二	五、二三〇	九、六〇四	一〇、五〇〇
大正六年	六一、七〇五	七、八三二	七、三三八	一三、四〇〇	一六、〇〇〇	六一、七〇五	七、八三二	七、三三八	一三、四〇〇	一六、〇〇〇

年別	豚				雞				
	總頭數	生產頭數	屠殺頭數	移入頭數	移出頭數	飼養戶數	羽數	個數	卵額
大正二年	二、三、七七二	四八	一、四九二	二、八三八	六八二	四六、三六六	一五〇、六四五	一一、三二八、〇一〇	二四七、八二四
大正六年	二一、六八二	六一	一、九九六	二、七〇二	七六四	五六、一二八	二〇五、三一八	一六、三五七、一九六	三六八、六五六

一〇、中國各縣畜牛數比較表

大正五年末調

縣名	現在頭數	種牡牛數	生產頭數
島根	四八、九七七	一九七	一一、二二五
島取	七三、五七二	三二七	一三、二一九
岡山	九〇、五六八	五一	一二、九〇〇
廣島	九七、六三四	四三七	一八、〇二二

町村名	種目	阿武郡內稻共同採種組合狀況調				町村名	種目	大正六年			
		組合數	組合員數	採種量	町村名			種目	組合數	組合員數	採種量
萩	種目	三	二二七	五、〇〇〇	地福	種目	二	三五〇	二五、五〇〇		
椿	種目	六	一六一	三、六〇〇	嘉年	種目	一	三七九	一六、六八〇		
山	種目	一四	二五三	二七、〇〇〇	高侯	種目	一	二八五	九、五〇〇		
明	種目	一	二〇	四、〇〇〇	吉部	種目	四	七二	五、九〇〇		
佐	種目	〇	二六〇	一三、二四〇	福川	種目	七	二二五	七、八四〇		
川	種目	二	二二〇	六〇、〇〇〇	紫福	種目	一	二八一	一、九五〇		
生	種目	二	二二〇	六〇、〇〇〇	大井	種目	一	二二五	二五、〇〇〇		
篠	種目	一	六三	一三、五〇〇	奈古	種目	〇	三二	二五、〇〇〇		
雲	種目	五	六三	一三、五〇〇	宇田	種目	七	三二	三、〇〇〇		

(一五)

郡別	一一、肥料使用額郡別調		大正五年調	
	自給肥料 <small>綠肥、堆肥、人糞尿</small>	金肥	總價額	反當順位
大	一六七、四三三	四、四九五	二〇八、九〇八	四、八六五
玖	六六、六五六	三三〇、一五六	八三六、八一二	五、〇三〇
熊	二九二、五五九	三九、六六二	三三二、一五一	四、〇一〇
都	三六六、五〇三	四七、六三四	四一四、三三七	三、六四〇
佐	三三九、七八〇	一八、六六〇	四四八、三九〇	三、九三〇
吉	四八二、二八六	三七九、一二九	八六一、四一五	四、八四〇
厚	三五三、五六八	三二五、五〇一	六六九、〇六九	四、五三二
豐	四九九、七五一	一七三、八八〇	六七三、六三一	三、六六八
美	二四七、三三八	五、三三七	三〇五、五六五	三、五五二
大	二二三、七四〇	二六、五五四	二五〇、二九四	三、一三三
阿	二四二、四七五	八、四九六	五〇三、九七一	三、九九〇
武	一〇九、七六〇	一、五〇一、五九四	一〇九、七六〇	三、九九〇
關	四、一一一、七〇九	五、六四、三〇三	平均	四、一八八
計				

(一四)

縣名	現在頭數	種牡牛數	生產頭數
兵	八六、六八五	二六八	一一、〇六三
山	六四、〇一九	一七六	七、〇六四

町村名	種目	組合數	組合員數	採種量	町村名	種目	組合數	組合員數	採種量
福賀	福賀	五	七	八、七〇〇	田万崎		八	一四〇	二四、二四〇
須佐	須佐	三	五	九、四〇〇	島		一	三	四、四〇〇
彌富	彌富	二	三	三、六〇〇	見島				
小川	小川	二	三	三、六〇〇	合計		三七	四、一四〇	六七、六〇〇

備考 前年ニ比シ組合數一一七、組合員數二、四二三採種量四六五〇二〇ナ増加ス

- 一、天のなせるわざはひは猶さくべし、自らなせるわざはのがるべからず
- 一、今日學ばずして、來日ありと謂ふ勿れ
- 一、菜根を咬み得て百事做すべし
- 一、先んずれば即ち人を制し、後るれば人の爲めに制せらる
- 一、人一たび之を能くすれば己は之を百たびす
- 一、終を慎むこと始の如くなれば則ち敗事なし

阿武郡報第二十四號 大正七年七月十五日發行 ©大正六年十二月十九日第三種郵便物認可 ©毎月一回十五日發行 一部代價金拾錢